

令和7年度 赤塚新町小学校の教育に対する調査 集計結果・報告

令和8年1月27日

板橋区立赤塚新町小学校

1 回答状況

対象	保護者	児童
回答者数	87	212
家庭数/児童数	188	235
回答率	約46.2%	約90.2%

実施方法：Google form（グーグルフォーム）
 実施期間：令和7年12月11日（木）～
 令和7年12月25日（木）

2 集計結果・報告 A：あてはまる B：どちらかというにあてはまる C：どちらかというにあてはまらない D：あてはまらない

2-1 確かな学力の向上

対象	保護者	児童
質問項目①	子どもたちは、基礎的な学力が身に付いている。	学習中、前に学習したことを使えるようになっていきますか。
集計結果	<p>A 50.6% B 47.1% C 2.3% D 0%</p>	<p>A 56.6% B 34.9% C 8.5% D 0%</p>
報告	<p>全ての教科等で、既習事項を活用して新たな内容を学習していきます。そのため、全児童が基礎的・基本的な学習内容を確かに身に付けていけるように学習を進めていくことが重要であると考えます。保護者、児童ともに肯定的な回答が90%以上を占めていることから、児童が基礎的な学力が身に付いている実情が伺えます。しかし、不十分であると回答する児童が約9%いることから、毎日の学習や朝学習の中で児童の学習状況に合わせながら既習事項を振り返って習得する時間を設けることはもちろん、一人一台端末を用いたAIドリルの活用を推進して、個別最適な学びを充実させていきます。</p>	

対象	保護者	児童
質問項目②	子どもたちは学習中で自分の考えを発表したり話し合ったりして様々な表現活動をしている。	学習で自分の考えを伝えたり、話し合ったりすることをすすんでできていますか。
集計結果	<p>A 48.3% B 51.7% C 0% D 0%</p>	<p>A 39.2% B 39.6% C 17.0% D 4.2%</p>

報告	<p>学力の三要素のうちの1つである「思考・判断・表現」は、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な資質・能力です。そこで、板橋区は「板橋区スタンダード」を推進し、読み解く力 I.T.O「Input（認識：読み取る）・Think（思考：考える）・Output（表現：伝える）」の育成に向けて授業改善を図ってきました。本校でも、その力の育成を図るため、日々の授業改善に力を入れてきたところです。全ての教科等で、学習活動に話し合い活動や表現活動を組織して学習展開を図ってきた成果が、保護者と児童ともに約80%の肯定的な回答に結び付いたと考えられます。一方、約20%弱の児童で課題があると回答していることから、様々な児童の表現を引き出して児童同士を繋ぐ指導の工夫を図っていきます。</p>
----	--

対象	保護者	児童
質問項目③	子どもたちは話の聞き方や発言の仕方など、学習のきまりを守って学習している。	話を聞くときや発表するときなどに学習のきまりを守れていますか。
集計結果	<p>A 41.4% B 57.5% C 1.1% D 0%</p>	<p>A 57.1% B 33.0% C 9.0% D 0.9%</p>
報告	<p>全ての児童に「思考・判断・表現」の資質・能力を育成していくためには、学級や学年などの互いを認め合う雰囲気醸成していくことが不可欠です。その基本となるのが、各児童の話し方と聞き方の技能の習得です。90%以上の保護者、児童から肯定的な回答を得られていることから、児童が安心して意見を述べたり、共感して意見を聞いたりするなど、学習規律がほぼ確立できていると思われます。しかし、9%の児童で課題を有していると回答していることから、今後も児童同士で友達の考えや思いを傾聴し、意欲的に発言し合えるように支援していきます。</p>	

対象	保護者	児童
質問項目④	子どもたちは毎日、家庭で自ら学習をしている。	毎日、家で自分から学習をしていますか。
集計結果	<p>A 34.5% B 51.7% C 11.5% D 2.3%</p>	<p>A 47.2% B 26.4% C 18.4% D 8.0%</p>

報告	<p>ここ数年行っている全国学力・学習状況調査の分析結果から、家庭学習をしている児童ほど国語、算数とも正答率が高い傾向があり、さらに計画を立てて家庭学習をしている児童ほど正答率が高い傾向が見られます。約75%近くの保護者、児童が肯定的に回答していることから、大方、家庭での学習習慣が定着しており、その成果が質問事項①の基礎的な学力の回答に結び付いているものと思われます。しかし、25%弱は家庭学習の定着が十分に図られていない現状を踏まえると、地域人材を活用した放課後学習教室の利用を促進する、家庭での学習の仕方を具体的に教えるなど、家庭学習を充実させるための取組について、一層の改善を図っていきます。</p>
----	--

対象	保護者	児童
質問項目⑤	<p>教員は学習のめあてを明確にして学習の展開や進め方を工夫している。</p>	<p>学校の学習では、めあてをもって分かりやすい学習ができていますか。</p>
集計結果	<p>A 55.2% B 43.7% C 0 % D 1.1%</p>	<p>A 43.9% B 42.0% C 11.8% D 2.4%</p>
報告	<p>学習のめあてを明確にして児童がめあてをもつことは、児童の主体的に学習に取り組む態度を促し、学力向上に繋がる大切な学習活動です。そのため、本校では全ての教科等でめあてを板書して明確にし、児童がめあてをもって学習に取り組む展開となるように授業の改善を図ってきました。その成果もあって、保護者と児童ともに80%以上の肯定的な回答を得ています。しかし、まだ10%弱の児童で課題があると回答していること、また今後は児童自らが学習課題を把握して学習に取り組む「自己調整学習」を推進していくことを踏まえると、授業のめあての確実な提示、教材提示の工夫など、学習の導入から授業の工夫に力を入れていきます。</p>	

対象	保護者	児童
質問項目⑥	<p>学校は、本に親しむ取り組みを行っている。</p>	<p>本を読むことを楽しんでますか。</p>
集計結果	<p>A 46.0% B 44.8% C 9.2% D 0 %</p>	<p>A 64.6% B 16.0% C 9.4% D 9.9%</p>

報告	<p>全国・学力学習状況調査の分析結果から、読書好きの子ほど国語以外の教科でも正答率が高い傾向にあることが分かっています。本校では、図書ボランティア活動を始めとし、読書旬間で朝読書の設定や家庭での読書の推進を行ってきました。その成果として、保護者と児童ともに80%以上の肯定的な回答を得ています。一方、10%強の児童が読書に親しめていない現状を踏まえると、今後は学校図書館の利活用の推進を図っていくとともに、近隣図書館の活用も図っていきます。</p>
-----------	---

2-2 豊かな人間性

対象	保護者	児童
質問項目①	子どもたちは友達や先生、来校者に進んであいさつをしている。	友達や先生、学校に来た人に自分からあいさつをしていますか。
集計結果	<p>A 29.9% B 52.9% C 17.2% D 0%</p>	<p>A 55.2% B 28.3% C 13.2% D 3.3%</p>
報告	<p>挨拶は、人と人との人間関係を築くための最初のステップです。他者と信頼関係を築く基礎であり、また地域に開かれた安心・安全な学校の構築においても重要な役割を果たします。保護者、児童ともに80%以上の肯定的な回答を得ているものの、回答の「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」で保護者と児童で逆転していることから成果の認識にずれが見られます。恐らく、相手の目を見る、笑顔でする、明るい声でするなどの作法が十分でないため、児童が挨拶という行動はしているものの、相手に届ける行為としては至っていないことが原因ではないかと推察します。今後も、代表委員会による挨拶運動を始めとして、校内外での挨拶の充実を図る指導を行っていきます。</p>	

対象	保護者	児童
質問項目②	子どもたちは、学校のきまりを守って生活している。	廊下を走ったり黙って教室から出たりしないなど、学校のきまりを守って生活していますか。
集計結果	<p>A 35.6% B 59.8% C 3.4% D 1.1%</p>	<p>A 52.4% B 33.5% C 12.7% D 1.4%</p>

報告	<p>学校のきまりは、集団生活における安全・秩序の維持、教育目標の達成、さらに将来の社会生活に向けた規範意識を育むためにも不可欠なものです。児童の主体性・自律心を養い、全員が快適に学習できる環境を確保する役割も果たします。保護者、児童ともに85%以上の肯定的な回答である一方、前質問項目と同様に「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」で保護者と児童で逆転していて成果の認識にずれが見られます。守る基準が自分本位であるか、他人本位であるかの違いで表れる児童の本質的な行動が評価の違いとして表れていると思われます。今後も、特別の教科 道徳や学級活動での話し合い活動などを通して、全ての児童がきまりを守ることを会得できるように指導していきます。</p>
----	--

対象	保護者	児童
質問項目③	学校は生活指導や道徳などを通して、いじめのない学級・学校づくりに努めている。	友達に優しくしたり、人が嫌がることをしないで友達と仲良く協力したりしていますか。
集計結果	<p>A 46.0% B 48.3% C 5.7% D 0%</p>	<p>A 56.1% B 35.4% C 5.7% D 2.8%</p>
報告	<p>心理的安全性が高い教室・学校では、児童は学習で積極的に発言しては難しい課題にも挑戦します。また、互いに尊重して助け合い、自己肯定感が高まります。さらに、多様なアイデアが生まれ、主体的な学びが深まります。そのため、いじめの防止は、本校全教職員が自らの問題として切実に受け止め、徹底して取り組むべき事項であると捉え、いじめの未然防止、早期発見、早期対応の充実を図ってきました。保護者と児童ともに90%以上が肯定的な回答であるから、一定の成果を得ていると考えます。今後も、関係する機関との連携を図りつつ、不安を抱える児童一人一人に応じた指導・支援を積極的に進めていきます。</p>	

対象	保護者	児童
質問項目④	学校は、異学年交流や通常学級と特別支援学級との交流を行っている。	他の学年や学級の友達と仲良く生活したり活動したりしていますか。
集計結果	<p>A 50.6% B 43.7% C 5.7% D 0%</p>	<p>A 59.0% B 28.3% C 6.6% D 6.1%</p>

報告	<p>異学年交流や通常学級と特別支援学級との交流は、児童の思いやりの心や多様性を尊重する心を育み、協調性・社会性をも育みます。さらには、児童の自己有用感も高めるなど、児童の豊かな人間性を育成する意義深い活動です。本校では特別支援学級を併設するという特色を生かしながら、なかよしフレンド班活動を柱に据えて交流活動を推進してきました。保護者、児童ともに約90%以上の肯定的な回答を得ていることから、その成果が読み取れます。体育学習発表会では、全児童が楽しめるようにとルールや方法を改善して全校表現や全校競技に取り組んで、さらに交流を深めました。それでも「当てはまらない」と答えている児童が6.1%いるので、今後もフレンド班での他学年交流の意識化を促したり、実施方法の工夫したりしながら各行事、学習、生活と多方面で交流活動に取り組みます。</p>
----	--

2-3 健康・安全・その他

対象	保護者	児童
質問項目①	学校は学校便りや学年便り、ホームページなどで、教育方針や教育活動の様子を保護者や地域に伝えている。	学校からのお知らせは、分かりやすいですか。
集計結果	<p>A 58.6% B 36.8% C 3.4% D 1.1%</p>	<p>A 62.7% B 26.9% C 8.0% D 2.4%</p>
報告	<p>開かれた学校づくりの一環として、保護者や地域に向けて日々の学校の教育活動を発信していくことは重要であると考えて、定期的に学校便りや学年便りなどを発行して情報を発信してきました。また、緊急性が高いと思われる情報はアプリ「すぐる」を活用して配信してきました。保護者、児童ともに約90%以上の肯定的な回答を得ていることから、その努力の成果が表れていると思います。今後は、定期的に学校ホームページの更新を行い、より充実した情報発信に努めていきます。</p>	

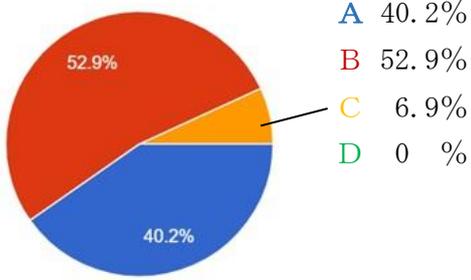
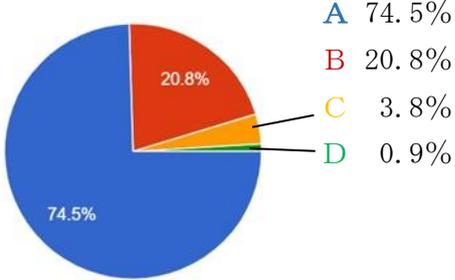
対象	保護者	児童
質問項目②	学校は、PTA活動や地域の行事と一緒に参加している。	ジャオクラブや地域の行事を楽しんでいますか。
集計結果	<p>A 54.0% B 43.7% C 1.1% D 1.1%</p>	<p>A 55.2% B 21.7% C 11.8% D 11.3%</p>

報告	<p>地域に開かれた学校をつくっていくために、学校施設を中心にした地域行事の活性化が望まれます。本校では、土曜授業の日に地域行事の開催を合わせ、児童だけでなく教職員も参加できるようにしてきました。また、教職員で分担してPTA活動を支援できるように体制を組み、連携を深めてきました。保護者から100%近い肯定的な回答を得ていることから、その努力の成果が表れていると思います。しかし、児童の肯定的な回答は約75%となっており、地域行事に参加する意欲に課題が見られます。今後は、学習に地域行事を関連させるなど、教育活動を工夫して児童の参加意欲を高めていきます。</p>
----	---

対象	保護者	児童
質問項目③	学校は登下校の見守りなど、保護者や地域と協力して、子どもたちの安全に配慮している。	決められた通学路や交通ルールを守って登下校していますか。
集計結果	<p>A 47.1% B 47.1% C 5.7% D 0%</p>	<p>A 72.6% B 20.8% C 3.8% D 2.8%</p>
報告	<p>児童の安全な登下校を確保することは、学校の教育環境の整備において最重要事項です。地域の方々の見守り、また保護者の送り迎えのご協力を得て、児童は毎日安全に登下校できていることに大変感謝しております。保護者、児童ともに90%以上の肯定的な回答を得ていることから、その実情を伺えます。今後も、児童が安全に登下校できるように関係する機関と連携を図り、登下校の見守りの強化に努めていきます。</p>	

対象	保護者	児童
質問項目④	学校は学校支援地域本部を活用し、保護者や地域のボランティアの方と協力して教育活動を行っている。	学校の外へ出かける時や学習中に一緒に学習を見守ってくれているお家の方や地域の方は、学習に協力してくれていますか。
集計結果	<p>A 47.1% B 50.6% C 2.3% D 0%</p>	<p>A 56.6% B 28.3% C 11.8% D 3.3%</p>

報告	<p>板橋区では、学校・保護者・地域が一体となって様々な取組を行うことによって、教員が子どもたちと向き合う時間の確保や地域人材を活用した教育活動の充実を図り、子どもたちの豊かな学びの実現に繋げていくことを目的に、「コミュニティ・スクール委員会」と「学校支援地域本部」を両輪・協働の関係で運営する仕組みを整えています。本校でも、各行事の支援や日々の学習支援、校外における学習の支援など、教育活動の様々な場面で連携を深めてきました。その成果が、保護者と児童ともに85%以上の肯定的な回答に表れています。今後は、校内研究における光が丘公園の利活用を促進する手だての一環として、さらなる連携の強化を図っていきます。</p>
----	---

対象	保護者	児童
質問項目⑤	学校は、常に校内の環境を整えようと努力している。	学校を汚さないように気を付けて、きれいに使うことはできていますか。
集計結果	 <p>A 40.2% B 52.9% C 6.9% D 0%</p>	 <p>A 74.5% B 20.8% C 3.8% D 0.9%</p>
報告	<p>学校の環境整備は、児童の安全・安心な学習環境の確保、健康の増進、そして学習意欲を高めるために不可欠です。本校では、定期的に校内整備を実施し、児童の学習に必要な教具・教材を整えてきました。また、主事室の職員を中心に、廊下やグリーン広場など、校舎内外の美化維持に努めてきました。保護者、児童ともに90%以上の肯定的な回答を得ていることから、その成果が伺えます。引き続き、学校の環境整備に努めるとともに、今後は教室や廊下などの掲示物の定期的な更新にも力を入れて、児童の学習を支える環境づくりに努めていきます。</p>	

対象	保護者	
質問項目⑤	その地、ご意見・ご提案がございましたら、ご入力ください。	
	集計結果	報告
	<p>回答項目に「分からない」を入れていただけると回答しやすいです。回答で分からない場合は、心理的に「どちらかという当てはまる」に入れてしまうので、結果が正確ではないような気がします。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。来年度の調査に向けて検討させていただきます。</p>
	<p>学校のホームページがあまり更新されていないように思います。給食の写真も掲載していただきたいです。</p>	<p>今後は定期的な学校ホームページの更新を行って、より充実した情報発信に努めていきます。</p>

<p>同じ学年でも固まり（グループ）を作らずに、みんなで遊べるような環境づくりをお願いしたいです。うちの子だけではないと思いますが、ある一定の子たちが固まって入れてもらえないということが多々あるようです。</p>	<p>同性・閉鎖的な小グループを形成して、友達と結束を強める発達段階があります。この時期は社会性や自己主張を学ぶ重要な成長段階です。しかし、いじめの未然防止の観点から、適切な友達関係を築けるように指導・支援していくことが大切と考えています。今後も、常に児童の実態を把握して学年・学級経営に努めていきます。</p>
<p>一人一人を丁寧に愛情深くみていただき感謝です。引き続き、よろしく願いいたします。</p>	<p>心温まる言葉、ありがとうございます。今後も、よりよい教育活動を行えるように努めていきます。</p>
<p>朝、校門で校長始め、先生の出迎えは安全だけでなく心温まる。あいさつが当たり前できていて雰囲気が良い。通学路の見守りも含め、努力を感じる。</p>	
<p>いつもありがとうございます。引き続き、ご迷惑をお掛けするかと思いますが、何卒、よろしくお願いします。</p>	
<p>とにかく息子は元気に学校に行っているのので、学校には大変感謝しています。有難うございます。ちなみに私は板橋区下赤塚地区の民生委員児童委員として今期は児童福祉部会に所属しましたので、何かできることがあれば協力したいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。</p>	
<p>子どもの担任の先生への信頼度が高く、保護者として安心しております。</p>	
<p>いつも子どもたちのために、ご尽力ありがとうございます。</p>	
<p>個人面談でお話を聞き、先生方がそれぞれの個性を考慮して指導してくださっていることがとてもよく分かりました。</p>	